

丹南高 鯖江高へ統合

20年度 武生商、武生工「産業高」に

県教委提示

丹南地区の県立高7校の再編について、地元の有識者らから意見を聞く地区懇談会の第2回会合が10日夜、サント

見を踏まえた修正案を提示し、年内に最終計画案をまとめた考えを示した。

丹南は鯖江に統合する形を取る。丹南は生活福祉やデザインなどさまざまな分野が学べる総合学科が特徴で、再編に当たり、鯖江の普通科内にスポーツ・福祉コース(仮称)、IT・デザインコース(同)を新設し、特色ある教育を継続する。また現在の普通科に加え、国公立大進学に力を入れる「探究科(同)」を新設する。

武生商と武生工は統合し、「総合産業高校」とする。商業系は現在の3学科を▽商業マネジメント▽情報ビジネスの2学科に、工業系は4学科を▽ものづくり▽電気情報▽都市・建築の3学科に再編する。20年度以降も2キャンパス制とし、それぞれ

の校舎を使用。25年度をめぐりに1キャンパスに統合する。4校以外では武生で、理数科に替わり、文系も加えた探究科(同)を新設し難関大への進学を強化。普通科と2学科制とする。会合の冒頭、東村健治県教育長は「再編は地域で活躍する人材育成など地元の期待に十分に配慮し進めたい」と述べた。出席者からは新設・再編される学科の目的や学習範囲をただす意見が多かったという。(石井敬夫)

丹南地区の県立高7校の再編については、現在の中学1年生が入学する2020年度に鯖江と丹南、武生商と武生工をそれぞれ統合する案を提示した。意見交換は非公開で行われ、県教委によると、学校名が得られた」とし、11月に予定する次回会合でこの日の意